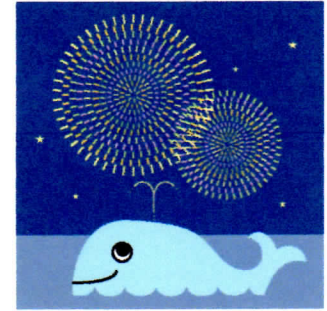


家族で伊江島に行った

1年 たなか れお

ぼくのお父さんとお母さん、そしておじさん、おばさんもいっしょにフェリー「ぐすく」にのって、いえじまに花火を見に行きました。いえじまのこころハウスにつくと、すぐに海におよぎにいきました。めったに見られないきれいないろのさかなを見ました。たくさんおよいでいてとてもたのしかったです。



よるになってバーベキューをしました。とてもおいしかったです。たべているとちゅうで、「バーン、バーン」という音がしてきたので、はして見にいきました。

よるの空に大きくひろがった花火は、いろんないろがあって、きれいでした。いえじまは、とてもたのしかったです。
(琉球新報 9月20日掲載)

早起きでわかったこと

4年 真喜志瑠香

「いたい。」と、小声で言いました。

私は、朝の5時半にぱっと目がさめました。妹が、私の手をかいて、いたかったからです。妹が手をかいたしゅん間に目がぱっとさめてしまったのです。

目はさめたのですが、起き上がらずにいると、妹と弟とお父さんと、あちこち動き回っていました。妹を弟が追いかけて、それをお父さんが追いかけていました。

心の中で「私が、ねているときは、いつもこんなふうにいるのかなあ」と、思いました。

早起きすると、面白い光景がいっぱいみられるとわかりました。あともう一つ。「早く三文のとくがこないかなあ」
(琉球新報 9月28日掲載)



4年生が居住地交流会開催

9月25日(金)、幼稚園の頃の友達と再会し、一緒に過ごすことで仲間意識を育て、生活経験を広げることをねらいとして、桜野特別支援学校に在籍している、きずなさんが、本校4年生と居住地交流会を実施しました。久しぶりに会うきずなさんに子ども達は大喜び、2階にある4年生教室まで、車いすを運んでくれたり、車いすのまわりを取り囲んだり、和やかな雰囲気でお出迎えしました。

右のプログラムに従って子ども達が司会をして、会を進行していきました。きずなさんの担任の大城先生が桜野特別支援学校でのきずなさんの様子を紹介してくれた時はみんな興味しんしんでした。みんなタッチでは、子ども達がきずなさんの手に優しくタッチすると笑顔いっぱいになりました。楽しい交流会を開催することができました。



写真1 楽しく交流



写真2 みんなそろって